

災害時の避難行動を  
考えてみましょう

---

防府市

令和8(2026)年

# 目 次

1. 防府市で想定される災害を知る
2. 防府市防災マップ(内水氾濫編)の作成について
3. 防府市防災マップ(内水氾濫編)の構成
  - 3.1 災害を知る
  - 3.2 危険を知る
  - 3.3 避難行動を考える
  - 3.4 災害に備える

# 1. 防府市で想定される災害を知る

# 近年発生した大きな風水害※山口県で起きた災害のみ

- |       |       |  |
|-------|-------|--|
| 令和6年  | 8月    | 台風10号に伴う大雨<br>⇒西日本広域で豪雨・洪水警戒、山口県も影響                                  |
| 令和5年  | 7月    | 線状降水帯による大雨<br>⇒九州北部～山口県で線状降水帯が発生                                     |
| 令和4年  | 9月    | 台風期の大雨<br>⇒台風接近により県内各地で大雨・強風   |
| 令和元年  | 8月～9月 | 台風期の大雨<br>⇒台風接近により県内各地で大雨・強風   |
| 平成30年 | 7月    | 梅雨末期の豪雨【平成30年7月豪雨】<br>⇒中国地方で記録的豪雨                                    |
| 平成27年 | 7月～9月 | 台風期の大雨<br>⇒台風接近により県内各地で大雨・強風   |
| 平成21年 | 7月    | 梅雨前線に伴う局地的豪雨【平成21年7月中国・九州北部豪雨】<br>⇒記録的豪雨により、防府市・山口市で大規模な土砂災害や浸水被害が発生 |

# 近年、防府市で発生した内水被害

※平成21年7月中国・九州北部豪雨

新田(横入川)付近



国衙付近



寿町付近



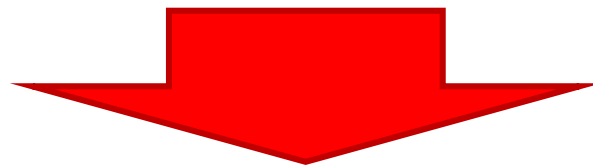
石が口付近



# 皆さん自身を守るために

適切な避難行動につなげるために  
知っておいてほしいこと

- どのような災害が起こるのか
- 危険な場所はどこか
- 避難はいつするのか



**「防府市防災マップ(内水氾濫編)」を活用し  
適切な避難を！**

## 2. 防府市防災マップ(内水氾濫編) の作成について

# 防府市防災マップ(内水氾濫編)作成の背景

市は、これまでに、

平成29年6月:佐波川

令和 4年4月:柳川・馬刀川

の洪水浸水想定区域をもとに、防災マップ(洪水編)を作成・配布しています。

近年、防府市周辺では短時間強雨による  
市街地の浸水被害が発生



河川の氾濫だけでなく、  
排水能力を超える「内水氾濫」が問題

# 防府市防災マップ(内水氾濫編)作成の背景

短時間強雨の増加により  
内水氾濫のリスクも高まっています。



住民の円滑な避難判断と減災対策のため  
防府市防災マップ(内水氾濫編)を作成しました。





# 内水浸水想定区域図の対象地域

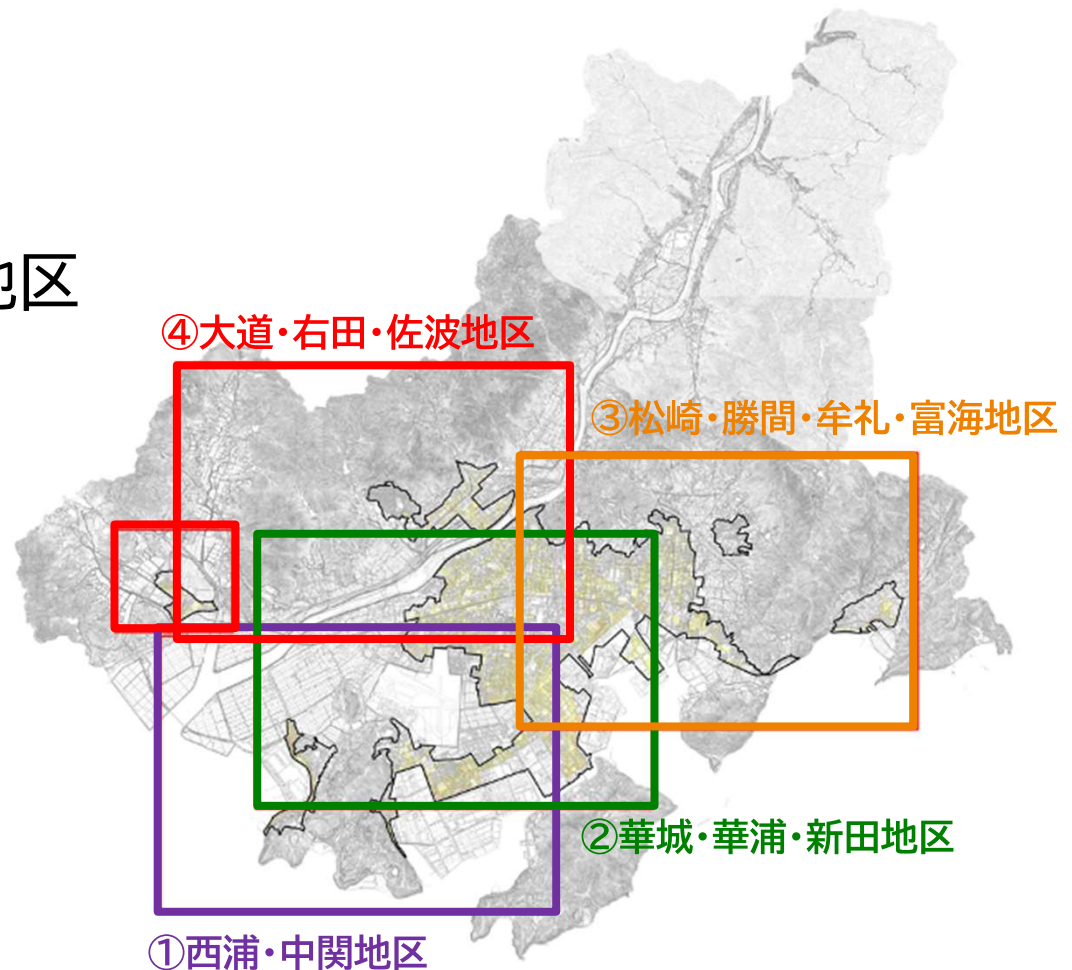
計画区域に係る以下の地区が対象

- ①西浦・中関地区
- ②華城・華浦・新田地区
- ③松崎・勝間・牟礼・富海地区
- ④大道・右田・佐波地区

内水浸水想定区域  
(想定最大規模降雨)

想定される浸水深

-  0.5m未満
-  0.5m～1.0m未満
-  1.0m～3.0m未満
-  3.0m～5.0m未満



# 内水浸水想定区域の作成手順

内水浸水想定区域は次の手順で予測します。

①想定する**降雨**を決めます。

・「浸水想定(洪水、内水)の作成等のための想定最大外力の設定方法」(国土交通省)に従い、地域区分ごとに設定された**想定最大降雨(1時間143mm)**としました。

②想定した雨が降った時、どのくらいの水があふれるか予測します。

- ・ どのくらいの雨水が地表に流れるか
- ・ どのくらい排水できるか
- ・ 排水しきれない水がどこに留まるかなどを設定し、シミュレーションを行います。

# 3. 防府市防災マップ(内水氾濫編)の 構成

# 防府市防災マップ(内水氾濫編)に掲載する内容

ハザードマップには、災害時に的確な避難行動をとるために役立つ情報を掲載しています。

## ①災害を知る

災害が起こる仕組みなどを掲載

## ②危険を知る

想定される災害、浸水するおそれのある区域などを地図上に掲載

## ③避難行動を考える

災害の危険性が高まったときの避難行動を掲載

## ④災害に備える

災害に対する日頃の備えや被害を軽減する方法などを掲載

# 防府市防災マップ(内水氾濫編)の構成

情報面

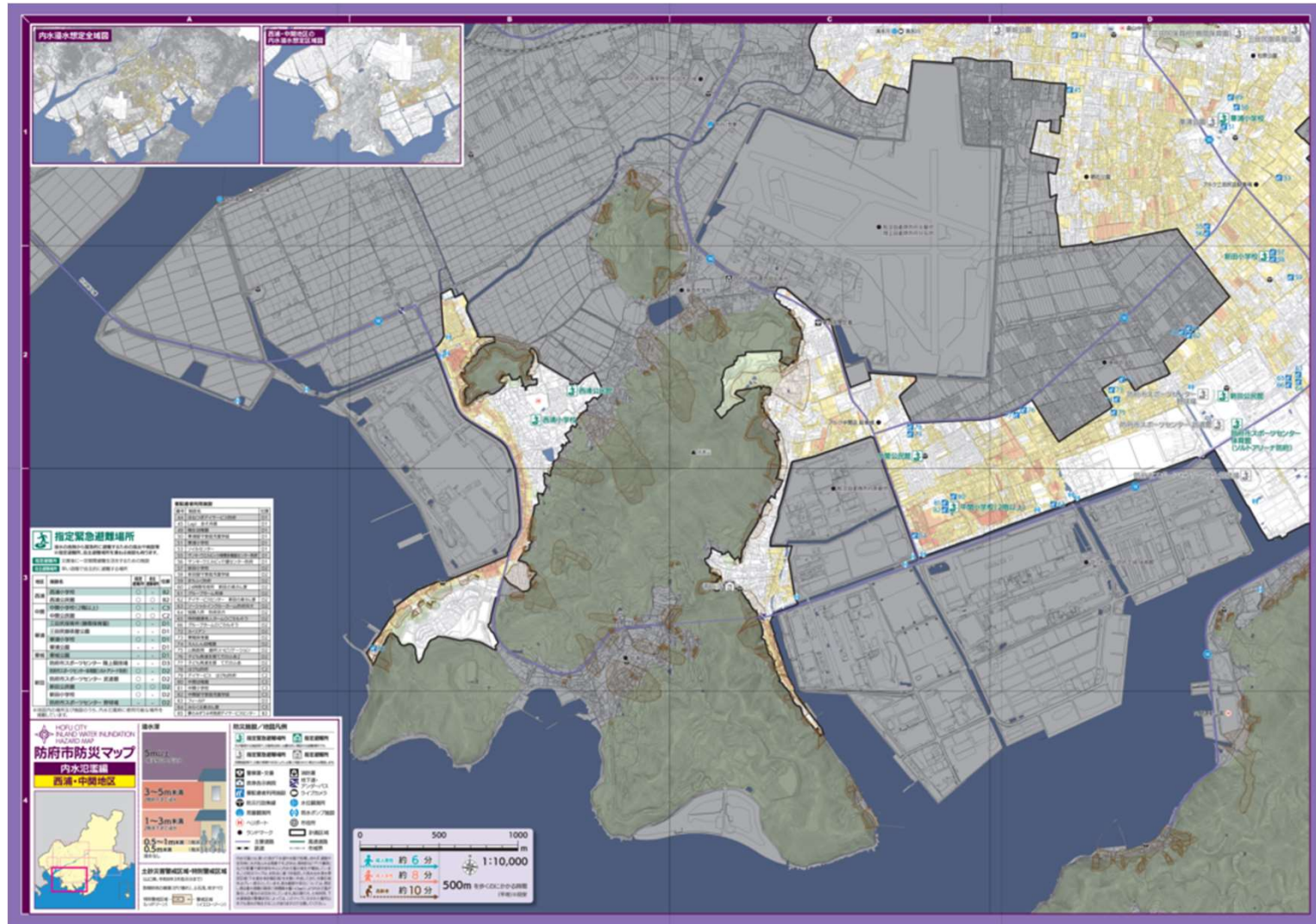
The image displays a grid of 10 panels from the 'Hofu City Inland Water Inundation Hazard Map'. The panels are arranged in three rows and three columns, with the bottom-right cell empty. Each panel contains text, illustrations, and diagrams related to flood preparedness.

- Top Left Panel:** Titled '防府市防災マップ 内水氾濫編' (Hofu City Inland Water Inundation Hazard Map). It includes a '保存版' (Preserved Edition) label and a 'ハザードマップの使い方等' (How to use the hazard map) section. A yellow starburst contains the text 'まずは、地図面で自分の置場所を探してみましょう!' (First, let's find our location on the map!).
- Top Middle Panel:** Titled '内水氾濫のメカニズムと備え' (Mechanism and preparation for inland water inundation). It explains the causes of inundation and includes a large blue circle with the text '①災害を知る' (1. Know the disaster).
- Top Right Panel:** Titled '避難のタイミングと、とるべき行動' (Timing of evacuation and actions to take). It features a vertical timeline with steps 1 through 5 and a large blue circle with the text '③避難行動を考える' (3. Think about evacuation actions).
- Middle Left Panel:** Titled '内水氾濫' (Inland water inundation). It includes a large blue circle with the text '①災害を知る' (1. Know the disaster).
- Middle Middle Panel:** Titled '災害に備える' (Preparation for disaster). It includes a large blue circle with the text '④災害に備える' (4. Prepare for disaster).
- Middle Right Panel:** Titled '避難の準備をしましょう' (Let's prepare for evacuation). It includes a large blue circle with the text '④災害に備える' (4. Prepare for disaster).
- Bottom Left Panel:** Titled '避難する場所を決めましょう' (Let's decide where to evacuate). It includes a large blue circle with the text '③避難行動を考える' (3. Think about evacuation actions) and a warning '災害リスクがあります! その場を離れ、安全な場所に避難しましょう!' (There is a disaster risk! Leave the scene and evacuate to a safe place!).
- Bottom Middle Panel:** Titled '災害への心構え' (Mindset for disaster). It includes a large blue circle with the text '③避難行動を考える' (3. Think about evacuation actions).
- Bottom Middle-Right Panel:** Titled '水害における自宅の備え' (Preparation for home during water damage). It includes a large blue circle with the text '④災害に備える' (4. Prepare for disaster).
- Bottom Right Panel:** Titled '情報の備えをしましょう' (Let's prepare information). It includes a large blue circle with the text '④災害に備える' (4. Prepare for disaster).



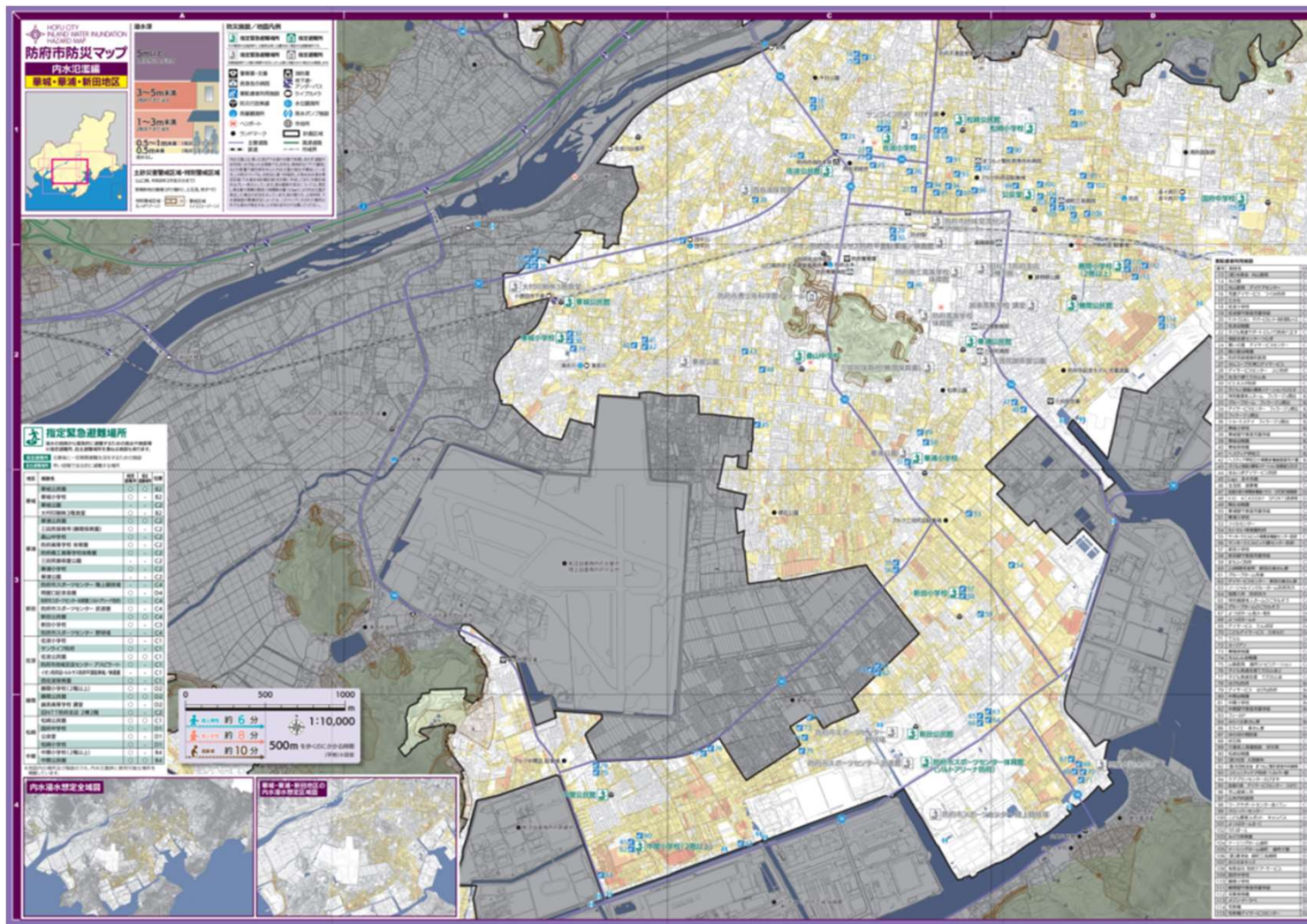
# 防府市防災マップ(内水氾濫編)の図郭

西浦・中関地区



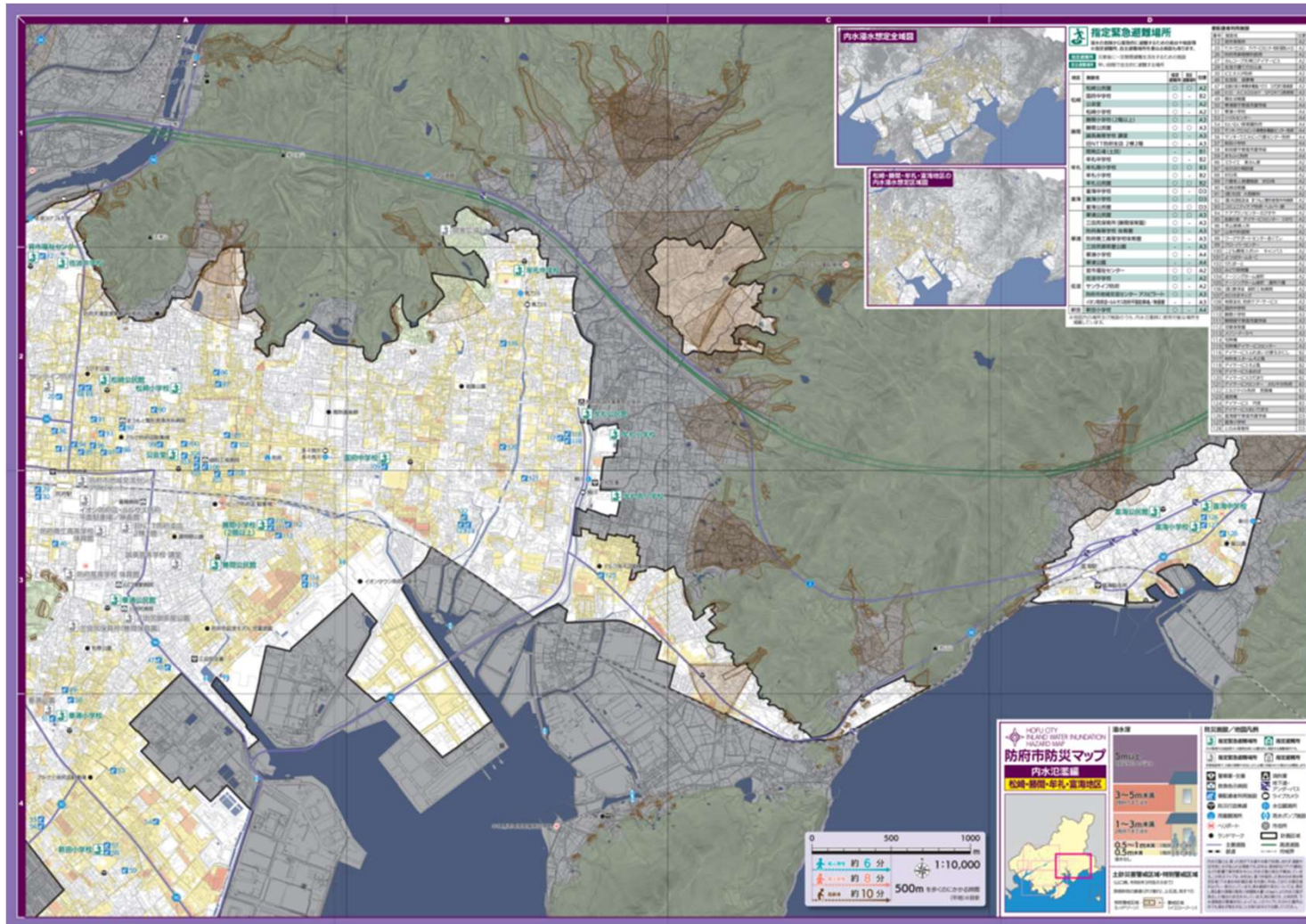
# 防府市防災マップ(内水氾濫編)の図郭

華城・華浦・新田地区



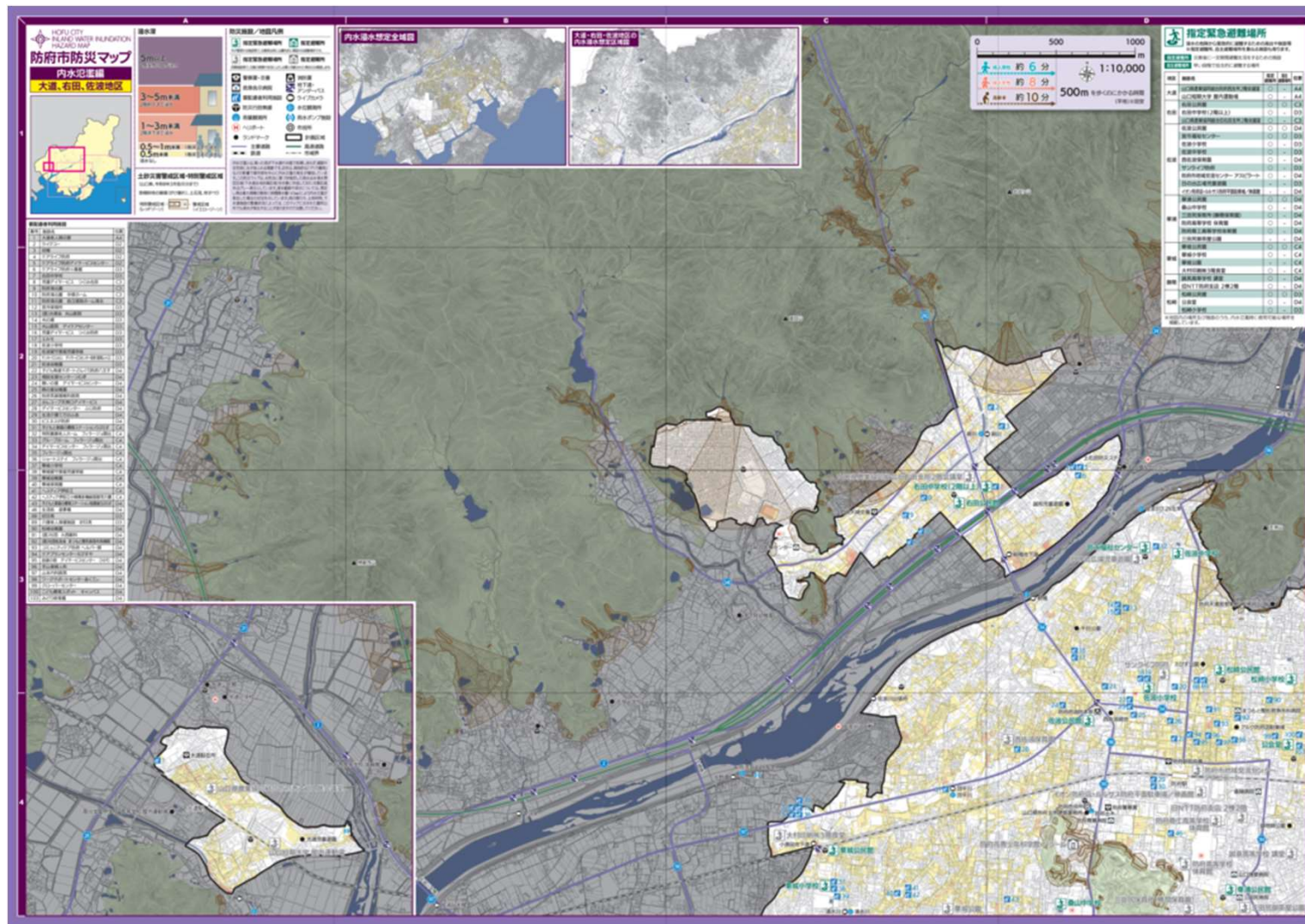
# 防府市防災マップ(内水氾濫編)の図郭

松崎・勝間・牟礼・富海地区



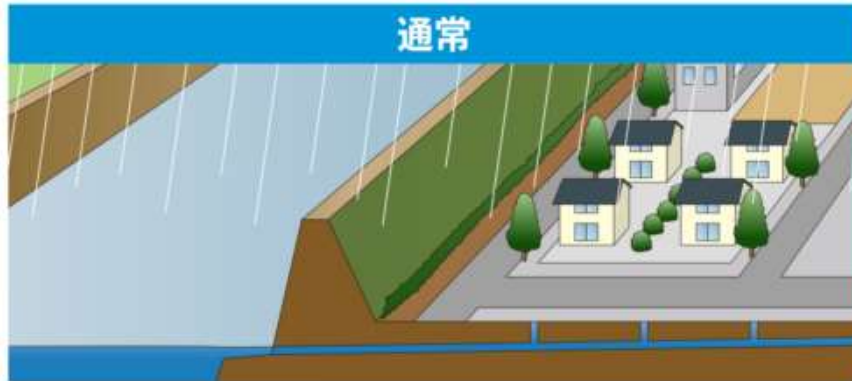
# 防府市防災マップ(内水氾濫編)の図郭

大道・右田・佐波地区

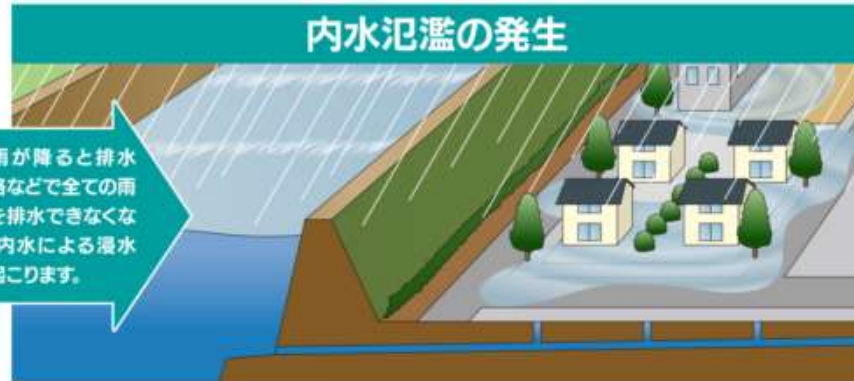


## 3.1 災害を知る

# ①災害を知る

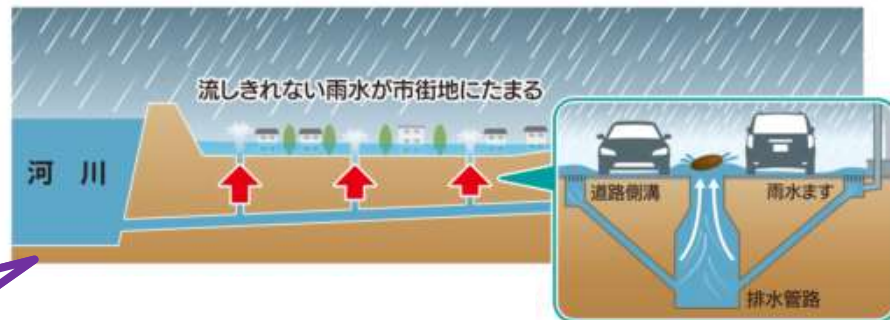


宅地に降った雨は雨水ますへ、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、排水管路や水路等を通して河川に排水されます。



大雨が降ると排水管路などで全ての雨水を排水できなくなり、内水による浸水が起こります。

内水氾濫とは、雨の量が排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。



流しきれない雨水が市街地にたまる

道路側溝  
雨水ます  
排水管路

内水氾濫が発生するしくみ

## 3.2 危険を知る

# ②危険を知る

浸水深の凡例



※施設名の横にあるマーク(凡例)を確認

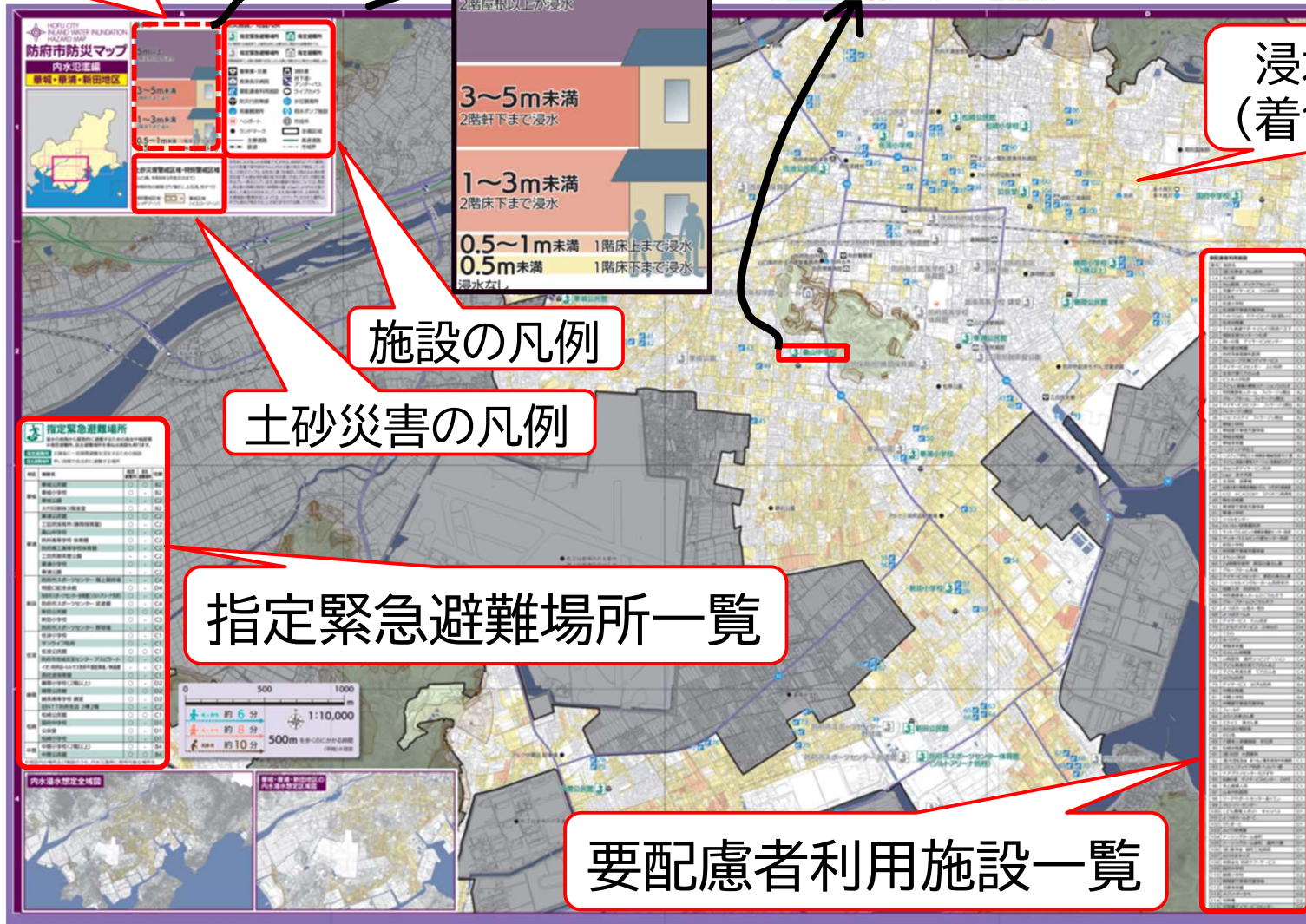
浸水範囲  
(着色箇所)

施設の凡例

土砂災害の凡例

指定緊急避難場所一覧

要配慮者利用施設一覧



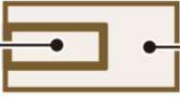
# 【地図の読み方】防災マップ(内水氾濫編)の見方

## 地図面

### 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

(山口県、令和8年3月告示分まで)

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)、土石流、地すべり

特別警戒区域(レッドゾーン)  警戒区域(イエローゾーン)

内水で浸水のおそれがある区域、土砂災害のおそれがある区域を着色しています。



## 【地図の読み方】防災マップ(内水氾濫編)の見方



### 指定緊急避難場所

災害がおこったときに、一時的に避難することができる場所。



### 指定避難所

災害がおきて、自宅では生活できなくなった場合に、一時的に滞在することができる場所。

- ・防災マップでは、市が管理する施設で、災害発生時に優先的に開設する施設は緑色で表示しています。
- ・民間施設等で、災害の規模や状況により、必要と判断した場合に開設する施設はグレーで表示しています。



## 【地図の読み方】防災マップ(内水氾濫編)の見方



### 救急告示病院

都道府県知事から認定された、365日24時間診療体制の医療機関。



### 地下道・ アンダーパス

周囲より低くなっている道路で、大雨の際に雨水がたまりやすく、冠水しやすい場所。



### 要配慮者利用施設

障がいがある方など避難時に配慮が必要な方が利用されている施設。



### ライブカメラ

河川の増水状況や水位をリアルタイムに確認できるカメラ。

## 3.3 避難行動を考える

# ③避難行動を考える

## 指定緊急避難場所・観測施設の確認

アンダーパスがある

橋を渡る



- ・指定緊急避難場所までの危険箇所
- ・ライブカメラの施設位置等、避難行動の検討や状況把握に役立つ施設を掲載しています。

水位観測所・  
ライブカメラ等  
の場所

# ③避難行動を考える

## 災害情報の入手

災害発生時の情報収集の方法などを掲載しています。

### 情報の入手先

#### ●防府市メールサービス

防災情報や防犯情報、イベント情報、議会情報など日常生活に役立つ情報をメール配信します。



#### ●防災行政無線(スピーカー)

防災行政無線放送の内容を電話で確認できます。

IP電話不可  
0800-200-2446

IP電話対応  
0800-200-2447



#### ●テレビのdボタン

NHK総合、KRY山口放送、YAB山口朝日放送、TYSテレビ山口を表示し、リモコンの「dボタン」を押すと、防災に関する情報や気象情報、市から発信する避難情報、避難所開設などの情報をいち早く見ることができます。

操作方法 (NHK総合の場合)

- ① リモコンの「dボタン」を押す。
- ② リモコンの矢印で「防災・生活情報」を選択し、「決定」を押す。
- ③ リモコンの矢印で見たい情報を選択し、「決定」を押すと情報が表示されます。

※チャンネルにより、データ放送の操作画面は異なります。



### 防災情報の伝達



### LINE 防府市LINE公式アカウント

「防災情報」をはじめ、防府市の様々な情報へ簡単にアクセスできます。緊急時は「避難情報」などをメッセージ配信しています。

防災マップ  
河川カメラ映像  
河川カメラ監視システム

避難所情報  
河川の水位・気象情報  
防災気象情報システム



●登録方法  
カメラをかざして二次元コードを読み取ってください。



# ③避難行動を考える

## 避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを準備し、避難の手順について確認しておきましょう。また、災害の危険性がある場合には、正しい情報を入手し、早めの避難を心がけましょう。



### 状況を見て、早めに避難しましょう

避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



### 浸水時、自動車での避難は危険

普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。



### 浸水時に長靴は厳禁

避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。また、素足での避難は大変危険です。



### 家族に連絡メモを残しましょう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



### 防災メモを持ちましょう

高齢者やこどもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



### 近隣で助け合いましょう

単独での行動は避け、近所の人などと集団で避難しましょう。



### 非常持ち出し品を準備

非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



### 安全なルートで避難

避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

避難する際の注意点を解説しています。

### ③避難行動を考える

#### 避難行動（立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保）

災害ではためらわずに早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動は避けなければいけません。そのような場合は、避難指示などが発令されていても、がけや浸水区域から離れる（水平避難）だけでなく、自宅の上階や建物の上層階といった高い場所への移動（垂直避難）をして救助を待つという判断も必要です。



すでに危険が迫っている場合は、無理な移動はせずに、自宅の2階や高い場所へ移動しましょう。

# 警戒レベル

- 警戒レベルとは、





災害の危険度と取るべき行動を5段階で示したものです。数字が大きくなるほど危険なことを表しています。

警戒レベル、避難のための情報などは、市から発表され、ラジオ、メール及び市ホームページなどから確認できます。

# 警戒レベルと、とるべき行動

## 避難のタイミングと、とるべき行動

情報をもとに避難のタイミングを判断し、事前に決めておいた避難先へ落ち着いて避難しましょう。

雨の降り方/防災気象情報	警戒レベル	避難行動
大雨の数日～約1日前 大雨の可能性が高くなる 大雨の半日～数時間前 雨が降り始め、強さを増す ・家の床下浸水のおそれ ・河川の増水、道路の冠水	レベル2 大雨注意報 気象庁が発表	避難に備える 防災マップで自分がすべき行動を確認 
大雨の数時間～2時間程度前 ・道路の冠水 ・家の床上浸水のおそれ ・河川の更なる増水による氾濫	レベル3 大雨警報 防府市が発令 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難! ・避難に時間がかかる方 (高齢者・障害のある方・妊婦・乳幼児等) ・土砂災害警戒区域に住んでいる方 ・水位上昇のおそれがある河川沿いに住んでいる方 上記の方は速やかに避難を開始しましょう その他の方は避難の準備を整えておきましょう 
・大雨となる ・大雨が一層激しくなる	レベル4 大雨危険警報 防府市が発令 避難指示	危険な場所から全員避難! 危険な場所にいる人は速やかに避難しましょう 避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所へ移動しましょう 
広い範囲で 数十年に一度の大雨	レベル5 大雨特別警報 防府市が発令 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保! すでに災害が発生又は切迫している状況 命を守るための最善の行動をとりましょう 

令和8年5月28日から  
防災気象情報が新しくなりました。

レベル1・2  
大雨注意報

レベル3  
大雨警報

レベル4  
大雨危険警報

レベル5  
大雨特別警報

※警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありません。

# ③避難行動を考える

## 避難する場所を決めましょう

裏面の防災マップで、お住まいの地域の災害リスクや住宅の条件を考慮した上で、避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

裏面の防災マップを見て、ご自宅や職場が地図のどこにあるか見てみましょう。  
次の質問に当てはまる項目を選び、安全を確保する場所を決めましょう。

**あてはまる浸水の深さより高い場所で長時間過ごせますか？**  
浸水の深さが3mを超えると、木造平屋は流出する可能性があります。

- 5m以上
- 3m~5m未満
- 1m~3m未満
- 0.5m~1m未満
- 0.5m未満
- 浸水なし

**浸水想定区域に入っていますか？**

- 5m以上 (2階床以上が浸水)
- 3~5m未満 (2階床下まで浸水)
- 1~3m未満 (2階床下まで浸水)
- 0.5~1m未満 (1階床以上まで浸水)
- 0.5m未満 (1階床下まで浸水)
- 浸水なし

**土砂災害警戒区域に入っていますか？**

- 入っていない
- 入っている

**自宅にいる**

家での備えが必須！  
日頃から家の点検や備蓄品などを備えておきましょう。

**災害リスクがあります！**  
その場を離れ、安全な場所に移動しましょう！

**親戚・知人宅**

- 緊急時に避難させてもらえるか、事前に相談しておきましょう。
- 避難生活に必要なものは自分で用意しておきましょう。

**旅館・ホテル**

- 指定緊急避難場所での密集を避けたい場合を選択します。

**指定緊急避難場所**

←このピクトグラムが目印

- 命を守ることを最優先に、災害の危機から逃れるための場所。

詳細はこちら

あらかじめ避難先を決めておきましょう ●ハザードマップで避難先の安全性を確認 ●非常持ち出し品の準備

地図面で自宅の位置を確認し、どのような避難行動をとるとよいか考えてみましょう。

# ③避難行動を考える

## 避難する場所を決めましょう

裏面の防災マップで、お住まいの地域の災害リスクや住宅の条件を考慮した上で、避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

裏面の防災マップを見て、ご自宅や職場が地図のどこにあるか見てみましょう。  
次の質問に当てはまる項目を選び、安全を確保する場所を決めましょう。

**あてはまる浸水の深さより高い場所で長時間過ごせますか？**  
浸水の深さが3mを超えると、木造平屋は流出する可能性があります。

- 5m以上
- 3m~5m未満
- 1m~3m未満
- 0.5m~1m未満
- 0.5m未満
- 浸水なし

**浸水想定区域に入っていますか？**

- 5m以上 (2階床以上が浸水)
- 3~5m未満 (2階床まで浸水)
- 1~3m未満 (2階床下まで浸水)
- 0.5~1m未満 (1階床以上まで浸水)
- 0.5m未満 (1階床下まで浸水)
- 浸水なし

**土砂災害警戒区域に入っていますか？**

- 入っていない
- 入っている

**自宅にいる**  
家での備えが必須！  
日頃から家の点検や備蓄品などを備えておきましょう。

**災害リスクがあります！**  
その場を離れ、安全な場所に移動しましょう！

- 親戚・知人宅**  
緊急時に避難させてもらえるか、事前に相談しておきましょう。  
避難生活に必要なものは自分で用意しておきましょう。
- 旅館・ホテル**  
指定緊急避難場所での密集を避けたい場合を選択します。
- 指定緊急避難場所**  
このピクトグラムが目印  
命を守ることを最優先に、災害の危機から逃れるための場所。  
詳細はこちら

あらかじめ避難先を決めておきましょう ●ハザードマップで避難先の安全性を確認 ●非常持ち出し品の準備

- 自宅が浸水しない。
- 想定される浸水深より高い場所で過ごせる。



自宅にいる

- 自宅では過ごせない。
- 安全な場所に親戚や知人が住んでいる。



事前に  
避難の相談

**避難所へ行くことだけが「避難」ではありません。**

## ③避難行動を考える

### 「避難」とは「難」を「避」けること

- 安全な場所にいる場合は、避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は小中学校などの避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

### ③ 避難行動を考える

災害時には、道路の損壊等により、消防等がすぐに助けに行けない可能性があります。  
避難訓練に積極的に参加し、日ごろから地域ぐるみで防災力を高めていきましょう。

#### 地域ぐるみで取り組む防災・減災

住民同士が協力して地域の防災力を高めましょう

##### 自助

自分の命は自分で守る



##### 共助

自分たちの地域は自分たちで守る



#### 避難訓練に参加しましょう

避難路の安全性の確保のために、地域の避難訓練に参加しましょう。  
避難行動要支援者への支援方法についても、話し合うと良いでしょう。

## 3.4 災害に備える

# ④災害に備える

## 非常持出品

### 非常持ち出し品について

いざというときに備えて、非常持ち出し品は、持ち運べる必要最小限のものをリュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。



#### ●食料

- 飲料水(1人1日3リットルを目安)
- 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など)
- 携帯食(チョコレート、キャンディーなど)
- 粉ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)

日頃から、3日分の食料や飲料水等を、非常備蓄品として常備しておきましょう。



#### ●救急・安全対策

- 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など)
- 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- 傷薬、消毒薬
- 持病のある方の薬
- お薬手帳(処方箋の控など)
- ホイッスル
- ヘルメット、防災ずきん
- 体温計、消毒液
- 目立つ色の服・合羽
- 懐中電灯



#### ●貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 預貯金通帳、印鑑
- クレジットカード類
- マイナンバーカード
- 免許証など(身分を証明するもの)



#### ●衣類など

- 衣類(厚手の物と薄い物)
- 下着類
- タオル、毛布
- 手袋、軍手
- 寝袋
- 雨具



#### ●日用品など

- ポリ袋(ビニール袋)
- 新聞紙
- ろうそく、ライター
- ナイフ、カッター
- ティッシュ
- ウェットティッシュ
- 懐中電灯(電池)
- 携帯ラジオ
- 携帯トイレ
- 携帯電話(充電器・バッテリー)
- 筆記用具(油性マジック)
- ロープ
- 地図(防災マップ)

非常持出品のリストを掲載しています。準備できたものは、リュックサックなどにまとめておきましょう。

# ④災害に備える

## 家のまわりを確認しましょう

**外壁**  
●モルタルの壁に亀裂はありませんか

**ベランダ**  
●植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

**ブロック塀**  
●傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

**排水溝**  
●側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか

**窓**  
●窓枠のがたつきはありませんか  
●雨戸のがたつきはありませんか

**その他**  
●ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか  
●商店などでは看板のぐらつきはありませんか  
●ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか  
●庭木には添え木をしていますか  
●窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

**板塀**  
●板塀に腐りや浮きはありますか  
●板塀に支柱はありますか

家のまわりの点検項目や家庭でできる簡易水防の方法を掲載しています。



**プランター+ビニールシート**  
土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。



**簡易水のう+止水板**  
簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせ、出入口に設置し、浸水を防ぎます。

**「簡易水のう」の作り方**

家庭で使用しているゴミ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

# ④災害に備える

## 他の防災マップも確認しましょう

### ●災害別防災マップ/防災必携

大雨による内水が発生したときは、同時に「土砂災害」も発生しやすくなります。市が作成している他の災害の防災マップも確認しておきましょう。防府市役所で配布しています。

防府市ホームページから  
もご覧いただけます。



<p><b>防災必携</b></p>	<p><b>洪水編</b></p>	<p><b>高潮編</b></p>	<p><b>土砂災害編</b></p>	<p><b>地震編</b></p>	<p><b>津波編</b></p>
<p>デジタルハザードマップ▶</p>		<p>ため池ハザードマップ▶</p>		<p>重ねるハザードマップ▶</p>	

災害ごとに防災マップを作成しています。  
どんな災害リスクがあるか確認しましょう。

大雨による災害は、  
事前に予測されていれば、  
避難が可能な現象です。

事前の備えで  
被害を最小限にとどめましょう。